

関西学院大学 研究成果報告

2019年 4月 4日

関西学院 院長殿

所属：社会学部
職名：教授
氏名：倉島哲

以下のとおり、報告いたします。

研究制度	<input type="checkbox"/> 関西学院留学 長期（滞在国： フランス ） <input type="checkbox"/> 関西学院留学 短期（滞在国： ） <input type="checkbox"/> 宣教師研究期間
研究課題	フランスにおける太極拳の実践に関する社会学的研究
研究実施場所	パリ第五大学
研究期間	2018年 3月 25日 ～ 2019年 3月 26日（ 12ヶ月）

◆ 研究成果概要 （2,500字程度）

上記研究課題に即して実施したことを具体的に記述してください。

3月末から8月は、受け入れ研究者であるパリ第五大学のアンドリュウ・ベルナル教授およびボルドー大学のラファエル・ベルナル教授が編集する学術雑誌Figure de l'artの35巻、le devenir-cyborg du monde(世界のサイボーグ化)特集号に掲載するための論文L'hétérogénéité du corps : l'apport de la transculturalité de Marcel Mauss pour le tai chi traditionnel(身体の異質性:マルセル・モースの通文化性と伝統太極拳)の執筆を行った。

ほぼ同時に、日本スポーツ社会学会の学会誌である『スポーツ社会学研究』26巻2号に掲載するための論文、The Body Behind the Spectacle: Capturing Emersion of the Living Body of Circus Performersをアンドリュウ教授と共同執筆した。また、本論文を全訳し、「スペクタクルの背後の身体—生ける身体のエメルジョンを捉える」として同号に掲載した。本論文を含め3本の論文よりなる特集「スポーツとモニタリング」の前書きも執筆した。

6月27日は、アンドリュウ教授らの主催によりパリ第五大学において約1週間にわたり開催される国際学術会議であるBody Week 3のうち1日を利用し、国際シンポジウムRedefining Health, Mind, and Body in Hybrid Cultures(ハイブリッド文化における健康・精神・身体を再定義する)の企画運営および司会を行った。また、同シンポジウム内で、口頭発表The Link Between Health and Martial Aspects of Tai Chi: Intracorporeal and Intercorporeal Coordination(太極拳における健康と武術の関係性:身体内的協調および間身体的協調)も行った。

8月末から9月にかけての3日間、英国マンチェスターに出張し、C太極拳センターの調査を行った。

9月から3月まで、パリ第五大学の大学院生ゼミでLe corps et l'intercorporéité dans le tai chi traditionnel(伝統太極拳における身体と間身体性)と題する月に一度の連続セミナーを開催し、現地の太極拳実践者と交流した。また、同大学の学生2名の博士論文学外審査委員を務めた。

12月18日には、パリ第五大学体育学部の創立90周年記念シンポジウム 90 ans 1 rue Lacretelle 1928-2018 において、口頭発表Les Staps ailleurs : le cas au Japon(諸外国における体育学部:日本の事例紹介)を行った。

年末から年始にかけては、鎌田東二編『身心変容技法研究』8に掲載するための論文「モース「身体技法論」における負の感情の抑制」を執筆した。ほぼ同時に、太極拳研究者であるエリック・コーリエ氏の著書Les fondamentaux du style Chen de tai chi : Nourrir le principe vital(陳氏太極拳の基礎:生命の原理を養う)のための前書きEn deçà de la métaphysique de la tradition(伝統の形而上学のこちら側に)を執筆した。帰国までは、太極拳における感情と技法の関係に関する論文、および、スロー・スポーツとしての太極拳に関する論文を執筆した(2019年4月時点で執筆中)。

以上の成果をまとめると、次のようになる。

単著論文

Kurashima, A. (2018). "L'hétérogénéité du corps : l'apport de la transculturalité de Marcel Mauss pour le tai chi traditionnel", Figure de l'art, 35, 117-137, 'le devenir-cyborg du monde', Pau, France : Presses universitaires de Pau et des Pays de l'Adour.

倉島哲(2018)「モース「身体技法論」における負の感情の抑制」鎌田東二編『身心変容技法研究』8 科研基盤研究(A)「身心変容技法と霊的暴力—宗教経験における負の感情の浄化のワザに関する総合的研究」年報、94-100.

共著論文

Andrieu, B. & Kurashima, A. (2018). "The Body Behind the Spectacle: Capturing Emersion of the Living Body of Circus Performers" 『スポーツ社会学研究』26(2), 25-38, 2018.

口頭発表

Kurashima, A. (2018) 'The Link Between Health and Martial Aspects of Tai Chi: Intracorporeal and Intercorporeal Coordination', Redefining Health, Mind, and Body in Hybrid Cultures (Body Week 3), 2018年6月27日、Université Paris-Descartes(フランス・パリ)

Kurashima, A. (2018) 'Les Staps ailleurs : le cas au Japon', 90 ans 1 rue Lacretelle 1928-2018, 2018年12月18日、Université Paris-Descartes(フランス・パリ)

翻訳

アンドリュウ・ベルナル、倉島哲著、倉島哲訳(2018)「スペクタクルの背後の身体—生ける身体のエメルジオンを捉える」『スポーツ社会学研究』26(2), 39-53.

前書

倉島哲(2018)「特集:スポーツとモニタリング 特集のねらい」『スポーツ社会学研究』26(2), 3-8.

Kurashima, A. (2019). Preface : En deçà de la métaphysique de la tradition. In Caulier, E., Les fondamentaux du style Chen de tai chi : Nourrir le principe vital (pp. 9-13). Strépy-Bracquegenies, Belgique : Le livre en papier.

国際シンポジウムの企画運営

シンポジウム名:Redefining Health, Mind, and Body in Hybrid Cultures (Body Week 3), 2018年6月27日, Université Paris-Descartes(フランス・パリ)

以上

提出期限:研究期間終了後2ヶ月以内

提出先:研究推進社会連携機構(NUC)

※関西学院留学は所属長を経て、宣教師研究期間は大学教員は学部長及び学長を経て院長に、高中部教員は各部長及び高中部長を経て院長に提出してください。

◆研究成果概要は、大学ホームページにて公開します。研究遂行上大学ホームページでの公開に支障がある場合は研究推進社会連携機構までご連絡ください。